

政治社会学会 (ASPOS)
第 8 回総会及び研究会大会
プログラム・要旨集

2017 年 11 月 11 日 (土)、12 日 (日)

追手門学院大学 (於 : 大阪/茨木)



政治社会学会（ASPOS）第8回総会及び研究会大会プログラム日程

2017年11月11日（土）、12日（日）

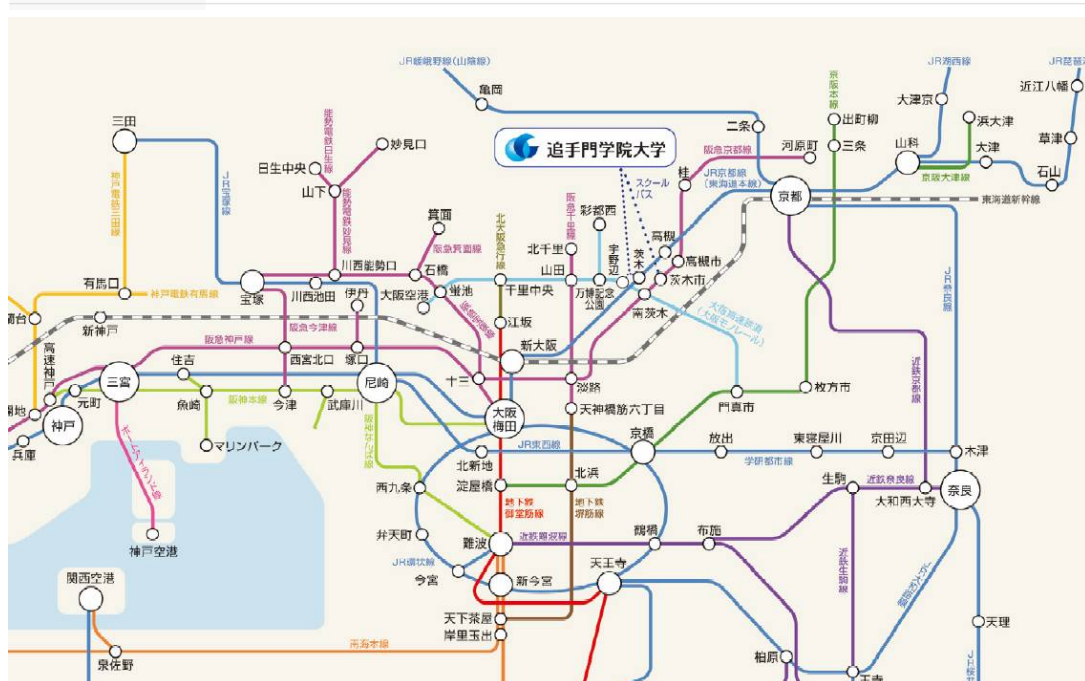
場所：追手門学院大学（大阪府茨木市西安威2-1-15）4号館4階 4403教室

懇親会会場 追手門学院大学ごはんや追手門食堂

大会参加費：会員 1000円 非会員 3000円（ただし招待者は無料）（懇親会費 3000円）

アクセス

大阪方面から	<ul style="list-style-type: none"> JR京都線・大阪駅 → 茨木駅 快速約 12分 阪急京都線・梅田駅 → 茨木市駅 特急約 16分 大阪市営地下鉄・天下茶屋駅 → 淡路駅 約 23分、阪急京都線・淡路駅 → 茨木市駅 特急約 8分
枚方方面から	<ul style="list-style-type: none"> 大阪モノレール・門真市駅 → 宇野辺駅 約 16分
京都方面から	<ul style="list-style-type: none"> JR京都線・京都駅 → 茨木駅 快速約 27分 阪急京都線・河原町駅 → 茨木市駅 特急約 27分
神戸方面から	<ul style="list-style-type: none"> JR神戸線・三ノ宮駅 → 茨木駅 快速約 40分 阪急神戸本線・神戸三宮駅 → 十三駅 特急約 24分、阪急京都本線・十三駅 → 茨木市駅 特急約 14分



<https://www.otemon.ac.jp/library/guide/campus/access/pdf/map.pdf>

最寄りの JR 茨木駅より 阪急バス ⑩バス停より 追手門学院大学行き 82番

土 休 日

発車予定時刻表

JR茨木⑩ 停留所

行先 時	保健医療センター前→中央図書館前 経由			茨木警察署前→春日→三咲町 経由			宇野辺→三保ヶ池→メゾン千里丘 →吹田東高校前 経由		
	[82] 三咲町→耳原→安威団地 経由 追手門学院前			[88] 耳原→安威団地 経由 追手門学院前			[65] 総持寺前 経由 JR富田		
	[57] 山田樫切山→新小川→阪急山田→ 津雲台七丁目 経由 千里中央								
6	55								
7				15 45			36 × 13 57		
8	05 38 58								
9	27 59						07		
10	59						07		
11	59						07		
12	59						55 07		
13	59						07		
14	59						07		
15	59						07 51		
16				40			41		
17	10			40			54		
18	15			50			18		
19	21 50						× 03 53		
20	27								
21	12						× 01		
22	11								
注							× = [57]阪急山田止		

道路状況等により遅延が生じることがあります

P 0128-00 2017/04 阪急バス株式会社

発車予定時刻表

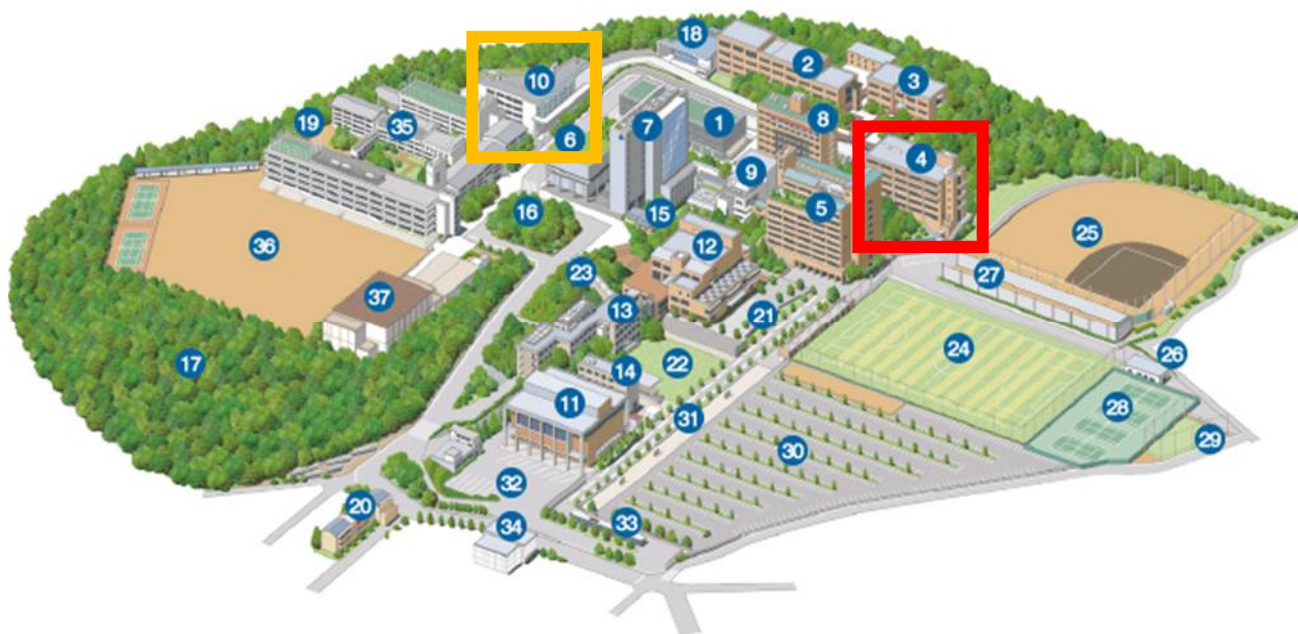
追手門学院前 停留所

行先 時	平日				土曜日・日祝日			
	安威団地→耳原→三咲町 経由				安威団地→耳原→三咲町 経由			
	[88] 春日→茨木警察署前 経由 JR茨木		[82] 中央図書館前 経由 JR茨木→阪急茨木		[88] 春日→茨木警察署前 経由 JR茨木		[82] 中央図書館前 経由 JR茨木→阪急茨木	
6	25		J 45		25		J 45	
7	00 50		J 15 J 30		00 50		J 15 J 30	
8			J 20 J 45				J 20 J 45	
9	10		阪 35		10		阪 35	
10			J 30				J 30	
11			阪 30				阪 30	
12			J 30				J 30	
13			阪 30				阪 30	
14			J 30				J 30	
15			阪 30				阪 30	
16	05		J 35				J 05 J 35	
17	15		J 40				J 15 J 40	
18			J 15 J 45				J 15 J 45	
19			J 20 J 50				J 20 J 50	
20			J 20 J 55				J 20 J 55	
21			J 40				J 40	
22								
注	J=[82]JR茨木止 阪=[82]JR茨木→茨木市役所前→阪急茨木行き							

道路状況等により遅延が生じることがあります

P 1423-00 2015/04 阪急バス株式会社

キャンパスマップ



①1号館、②2号館、③3号館、④4号館、⑤5号館、⑥6号館（優駿ホール）、⑦中央棟、⑧研究棟
⑨図書館、⑩食堂棟、⑪体育館、⑫学生会館、⑬3学友会センター、⑭第2学友会センター、⑮松籟庵
（しょうらいあん）、⑯將軍山第1地点遺跡（通称：月見山古墳）、⑰將軍塚古墳、⑱將軍山会館、⑲真
龍寺古墳、⑳地域支援心理研究センター、㉑ゼブラスクエア、㉒追大緑地、㉓大エスカレーター、㉔第
1グラウンド、㉕第2グラウンド、㉖体育練習場、㉗アーチェリー場、㉘テニスコート、㉙ゴルフ練習
場、㉚駐車場・自転車置場、㉛さくら径、㉜直通バスターミナル、㉝守衛室・おいだい広報ギャラ
リー、㉞トレーニングセンター、㉟追手門学院中・高等学校、㊱中・高グラウンド、㊲中・高体育館







[4403 教室の視聴覚設備について]

4403 教室には、プロジェクター、スクリーン（100インチ）、教卓パソコンが用意されています。ウィンドウズで動くフラッシュメモリーでご準備いただくのが無難ですが、RGBケーブルが備えられておりウィンドウズ持込パソコンと接続することもできます。持込マックパソコンとの接続のためには変換機が必要です。

キャンパス MAP



マークの見方

-  … 身体障がい者用トイレ
-  … 段差解消機
-  … 身体障がい者用駐車場
-  … エレベーター【各号館に設置】
-  … エスカレーター
-  … 喫煙コーナー

その他身体障がい者用施設

- 誘導用点字ブロック … 建屋間・各階廊下
- 階段用点字ブロック … 各階段口
- 階段用点字表示 … 各階段手すり
- 教室用点字表示 … 各教室入口

[追手門学院大学茨木キャンパス 4号館への同順]

バス停からさくら徑に出て5号館の建物にB1Fから入り、エレベータで5階にお上がりください。エレベータを降りて道なりに進み5号館を出て、さらにまっすぐに進みますと1号館前（右側が研究棟、左側が図書館）三叉路に出ます。これを右折して進むと、すぐに2号館前に出ます。さらに右折すると、正面に4号館が見えます。階段をのぼると4号館5階、階段を降りると4号館4階となります。

1 日目 : 11 月 11 日 (土)

10 : 00 - 12 : 00 自由セッション報告 1

蒔田純 (法政大学大学院公共政策研究科 兼任講師)

「政策ネットワークから見る社会的変化と政策変容」

討論者 : 小田切康彦 (徳島大学 准教授)

泰松範行 (東洋学園大学 教授) 「学会での若手の減少や活動の停滞に関して」

中村知子 (茨城キリスト教大学 兼任講師) 「学会活動に対する意識に関して」

全体討論

12 : 00 - 13 : 00 理事会 4号館4階 4401 教室、昼食休憩

13 : 00 - 15 : 00

セッション 1 地域活性化論の諸相と政策 : 近畿・山陰から、なにが可能か

司会 吉田龍太郎 (慶應義塾大学 SFC 研究所上席所員・亜細亜大学兼任講師)

報告 1 大谷信盛 (大阪商業大学アミューズメント産業研究所 客員研究員・元環境政務官)

「統合型リゾート推進法案の背景と政策決定過程」

報告 2 勝山正昭 (Kimino Japan 代表取締役社長)、木村滋世 (NPO 法人日本タイ教育交流協会代表)、シサダ・シリポンサロジ (ゴルフ) (同志社大学大学院)

「丹後地方におけるインバウンドツーリズムの可能性と課題」

報告 3 安部聖 (島根県中山間地域研究センター)

「地方創生の取組、課題そして展望」(仮題)

討論者 水垣源太郎 (奈良女子大学 教授)

泰松範行 (東洋学園大学 教授)

15 : 15 - 17 : 15 セッション 2

公民連携、協働、共創をいかに進めるべきか : 地方創生と公共施設マネジメントの取り組みを踏まえて

【モデレーター・矢尾板俊平 (淑徳大学コミュニティ政策学部准教授、淑徳大学地域連携センター長)】

報告 1 矢尾板俊平 (淑徳大学コミュニティ政策学部准教授、淑徳大学地域連携センター長)

15 : 15 - 15 : 35 「公民連携、協働、共創の考え方と事例について」

報告 2 中川直洋 (一般社団法人ソーシャルビジネスドリームパートナーズ専務理事)

15 : 35 - 15 : 55 「地方創生ビジネスと公共施設の活用について」

報告 3 松村俊英 (ジャパンシステム株式会社ソリューションストラテジスト)

15 : 55 - 16 : 15 「公共施設マネジメントの現状と課題について」

16 : 15 - 17 : 15 パネルディスカッション

17 : 30 - 17 : 45 総会

18:00-20:00 懇親会 追手門学院大学ごはんや追手門食堂

2日目: 11月12日(日)

10:00-12:00 セッション3 ポピュリズムは収束したか?

- 司会 今村浩(早稲田大学 教授)、新川達郎(同志社大学 教授)
- 報告1 秋本富雄(東海大学 准教授)「ブレグジットのその後」
- 報告2 田浦健朗(特定非営利法人機構ネットワーク事務局長)「米国の離脱と世界の対応～温暖化対策に変化はあるのか(仮題)」
- グループ討論

12:00-13:00 理事会 4号館4階 4401教室、昼食休憩

13:00-15:00 ワークショップ 分散型エネルギー体制へのチャレンジ: デンマークの取り組みを通して【企画: 香川敏幸(慶應義塾大学)】

- 座長 原田博夫(専修大学 教授)
- 報告1 香川敏幸(慶應義塾大学 名誉教授)「ひと・自然と共生社会における分散型エネルギーシステムの構築ーデンマークの政治社会から学ぶー」
- 報告2 市川顕(関西学院大学 准教授)「ヨーロッパが目指す脱炭素社会」
- 報告3 津田啓生(京都大学大学院)「デンマークの風力発電普及と市民ー社会的受容性の観点からー」

報告要旨

自由論題セッション

蒔田純（法政大学大学院公共政策研究科 兼任講師）

「政策ネットワークから見る社会的変化と政策変容」

社会の変化と政策変容との関係性（例えばテクノロジーが発達して新たなサービスが生まれると、それと既存の法制度の間に矛盾が生じ、新産業と政府・伝統産業の間の対立を経て、やがて政策変容につながっていく、というような因果関係）について、政策ネットワーク論の観点から説明を試みる。取り上げる事例としては、医薬品ネット販売の規制緩和、民泊・ライドシェアに代表されるシェアリングエコノミーの制度改正、プログラミング教育の必修化、等を考えている。

「学会での若手の減少や活動の停滞に関して」

泰松範行（東洋学園大学グローバル・コミュニケーション学部 教授）

近年の若手研究者は非常勤職が多く、研究面でのプレッシャーだけでなく、教育負担が時間的にも大きい。このような現状は学会での若手の減少や活動の停滞にもつながる。そうした問題を、(主として)若手研究者が主体で話し合う。

「学会活動に対する意識に関して」

中村知子（茨城キリスト教大学 兼任講師）

政治社会学会における学会活動の停滞や若手会員の伸び悩みに関して、アンケート結果に基づき現状報告を行う。

セッション1 地域活性化論の諸相と政策：近畿・山陰から、なにが可能か

地域振興の掛け声は、景気停滞が常態化した都市部における経済振興から、人口減少にあえぐ地方の活性化に至るまで各方面で用いられ、政策分野や対象業種も多岐にわたるようになった。そのような中、多くの学会においても、実務関係者を含めた理論・事例の共有が定着した一方で、活動分野や形態に応じた細分化も顕著となったように思われる。本セッションでは、地域事情、政策分野・業種、組織形態を異にする多様な取り組み事例を対象に、各地域の課題（可能性や盲点）を明らかにしていきたい。

セッション2

公民連携、協働、共創をいかに進めるべきか：地方創生と公共施設マネジメントの取り組みを踏まえて

現在、わが国において、人口減少、少子化、高齢化、グローバル化などの社会環境の変化が進展する中で、各自治体では、地方創生の取り組みや公共施設マネジメントに関する取り組みが進められています。地方創生の取り組みにおいては、地域の潜在的資源の活用や事業創出を通じて、地域経済の再生が進められています。また公共施設マネジメントの取り組みでは、「総合管理計画」の策定が行われるとともに、老朽化、または耐震化の問題に直面する中で、公共施設の統廃合、有効活用などについても検討がなされています。特に、市町村合併が行われた自治体では、重複する公共施設の在り方についても議論がなされています。本セッションでは、これまで、あまり一緒に語られることが無い地方創生の取り組みと公共施設マネジメントの議論を踏まえながら、組み合わせながら、地域の再生や持続性の担保のために、どのような政策を検討していくべきなのか、そうした議論を通じて、公民連携、協働、共創をどのように進めていくべきか、というテーマについて、行政、民間の両方の視点から検討します。

セッション3 ポピュリズムは収束したか？：パリ協定をめぐって

ポピュリズムは大衆迎合主義と訳され、人気のある選択肢が合理性を凌駕する民主主義の望ましくない面とされることが多い。最近、ポピュリズムの影響が強まっているとの指摘がよくなされる。トランプ大統領の誕生やヨーロッパでの右派勢力の台頭などが意識されているものと思われる。本セッションで取り上げたいのは、イギリスのEU離脱、そしてアメリカのパリ協定離脱である。これらもポピュリズムを反映した動きの一つととらえられることがある。これらは今後どのように進んでいくのだろうか、お二人の専門家にご報告いただき、考えてみたい。

ワークショップ 分散型エネルギー体制へのチャレンジ：デンマークの取り組みを通して

当ワークショップでは、デンマークにおける風力発電の取り組みを、①歴史的枠組み、②EUの気候変動・エネルギー政策の枠組み、そして③立地をめぐる社会的受容性、の三つの観点から考察する。現地調査を踏まえたデンマークの現状のみならず、EUにおける脱炭素社会構築の歴史的背景と理論的支柱、再生可能エネルギー施設設置をめぐる社会的受容性の問題を取り上げることで、実践面のみならず、理論面にも焦点を当てる。